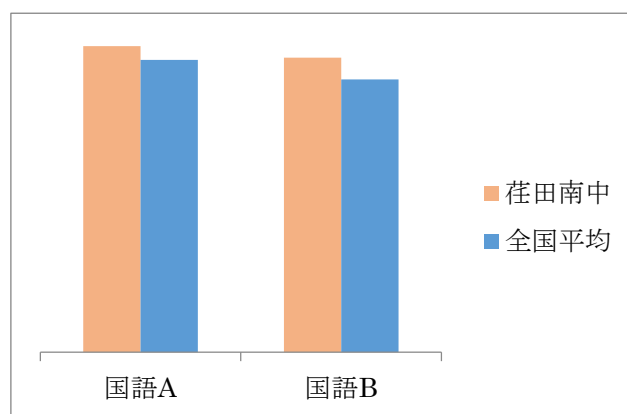


【国語】

今年度は国語A（主として知識）、国語B（主として活用）において、テスト全体の平均点が全国平均を国語Aで4%、国語Bで6%上回っている。評価の観点別の平均点も全ての領域において、全国平均を上回っている。特に国語Bにおいて、「書くこと」「古典・言語事項」の観点は、全国平均を大きく上回っている。

国語Bでは記述式の問題が3問あったが、正答率は全国平均より10%近くも高く、普段から記述する学習にも意欲的に取り組んでいる成果の表れであろう。

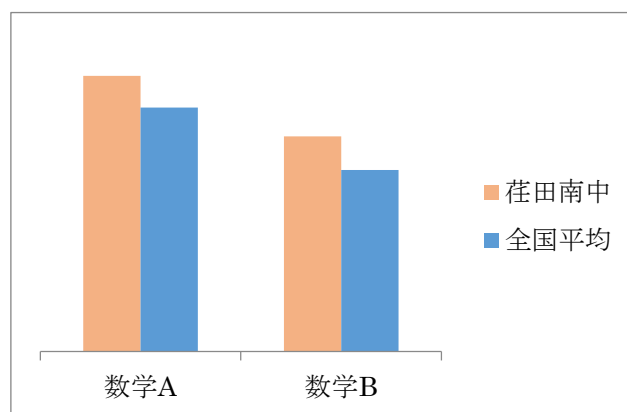
今後も、引き続き基礎的な学習に加え、スピーチや話し合い、作文等の学習への積極的な支援を行っていきたい。



【数学】

今年度は数学A（主として知識）、数学B（主として活用）において、各領域とも全国平均を9%程上回っている。評価の観点別に正答率を分析すると、数学Bにおいて「数学的な見方や考え方」の正答率が全体的に低い。これは全国平均と同じ傾向にある。特に事象について数学的な表現を用いて説明をすることを苦手とする生徒が多いといえる。

今後も日々の授業での取り組みの中で、数学を活用できる力を育み、生徒の主体的な取り組みを支援していきたい。



【生徒質問紙調査より】

数学、国語への関心等は全国平均、神奈川県平均と比較して高い傾向があり、学習に対する意識の高さがうかがわれる。また、全国では平均程度であるが、神奈川県平均と比較して、自尊感情や規範意識が高い傾向がある。反面、生活習慣と総合的な学習に関しては県の平均と同程度か下回っているが、平成28年度の結果との比較では総合的な学習への関心は向上傾向にある。

全国学力・学習状況調査結果チャート
横浜市立荏田南中学校

以下の集計値／グラフは、貴校の生徒質問紙調査の結果を集計した値である。

※ただし、教科学力領域については、4月18日に調査を実施した生徒の結果を集計した値である。
尚、4月18日に実施していない学校については、4月19日以降5月2日までに実施した生徒の結果を集計した値とする。
※チャートの詳細については、別添「調査結果に関する補足説明 全国学力・学習状況調査結果チャートについて」を参照のこと。

| | |
|--------|-----|
| | 生徒数 |
| 平成29年度 | 203 |
| 平成28年度 | 252 |

[児童生徒]

[参考]平成29年度結果に、昨年度実施した調査結果を重ねたグラフ
※黒三角・黒破線は昨年度の貴校の調査結果を示す。
(昨年度、該当する領域がなかった箇所については、黒三角・黒破線は記載していない。)

生徒質問紙 (全国基準)

生徒質問紙 (神奈川県)

<平成29年度調査の領域名と生徒質問紙の質問番号の対応一覧表>

| 領域番号 | 領域名 | | 中学校生徒質問紙 対応領域・項目番号 |
|------|-----|------------------------|---|
| I | 1 | 教科学力 | |
| | 2 | | |
| | 3 | | |
| | 4 | | |
| II | 5 | 学習に対する 関心・意欲・ 態度 | (71)～(78) |
| | 6 | 国語への関心等 | (80)～(89) |
| | 7 | 数学への関心等 総合的な学習への関心等 | (56) |
| III | 8 | 規範意識・ 自尊感情 | (51)～(55) |
| | 9 | 規範意識 自尊感情 | (4)～(6)(10) |
| IV | 10 | 学習の基盤と なる 活動・習慣 | 言語活動・読解力 (7)～(9)(38) (58)～(62)(66)(68)～(70) |
| | 11 | | 生活習慣 (1)～(3) |
| | 12 | | 学習習慣 (31)～(34) |

<結果チャートの見方>

生徒質問紙(全国基準)